
科目名称： 研究開発型ベンチャー特論

インテュイットのケースに対する議論

内容確認

- インテュイット社の製品群について説明してください
- インテュイット社はどのようにして成長してきましたか？
- 毎年ソフトウェアを更新しなくてはならない理由は何か？
- 別のソフトウェアに乗り換えることに伴うコスト（つまり切り替えのコスト）とは何か？
- ライバル企業としてはどのような企業があったか？ それぞれの特色について説明してください
- 税務処理システムを開発する原因となった問題はどのようなものだったか（複数）？

議論

- 論点(1)： 1997年後半の経営判断として、DOS版プロシリーズをもう一年継続するべきだろうか？
- 論点(2)： 論点(1)に関連して、事業規模の税理士たちへの影響をどう考慮するべきか？ 皆さんが知っている他のソフト関連企業や異業種における事例などを参考に検討して下さい
- 論点(3)： 論点(1)に関連して、顧客の評判という点はどの程度重視するべきだろうか？ 皆さんが知っている他のソフト関連企業や異業種における事例などを参考に検討して下さい
- 論点(4)： 1997年以降、OSの進化やさらにインターネットの発達というようなコンピュータを巡る環境の変化があった。これらの変化の下でインテュイット社はどのような顧客を狙って、どのような製品群を生み出すべきだろうか？